

第13回 雨水ネットワーク全国大会 2021 オンライン

雨は 恵み? 災い?

～これからの雨とのつきあい方～

プログラム



参加無料!!
途中参加・途中退出、自由

2021年 12月 5日(日) 9:00~17:00

Zoom ミーティングを利用した「オンライン」開催

【開催趣旨】

雨水ネットワークは、雨を活かすことが当たり前の社会を実現するため 2008 年に発足し、これまで全国 8 地域で 1 2 回の全国大会を開催してきました。これまでの全国大会においては、その時々時代の要請や開催地の特性に即し、雨水活用は勿論、水、雪、人、ものづくり、文化に関わる水循環、グリーンインフラ、気候変動や SDGs など、様々な大会テーマを掲げてきましたが、どのテーマも根底には『雨を悪者（わるもの）や邪魔者として扱わない』という考え方がありました。

しかし、ここ数年、気候変動の影響により、雨による甚大な水害が全国各地で頻発しており、一般的には『雨は、悪者、邪魔者』という印象が強くなっています。また、今後も、雨による水害や災害の頻発化・激甚化が予想されており、新たな雨との付き合い方が必要となってきました。

そこで、今大会は、『雨は、恵み？ 災い？ ～これからの雨とのつきあい方～』をテーマとし、今一度、雨は“恵み”なのか？ “災い”なのか？という問いに改めて向き合ってみようということとなりました。

是非、皆さんと改めて雨の恵みや災いについて考え、これからの雨とのつきあい方に繋げていけることを期待しています。

◆ プログラム ◆

9:00 開会あいさつ

屋井 裕幸（実行委員長）

ビデオメッセージ：国土交通省 水管理・国土保全局 水資源部長 三橋さゆり

9:10 あまみず入門「知っておきたい雨のこと」 (60分)

雨の基礎知識を、“恵み”、“災い”それぞれについて簡単な動画で学びます。

進行：奥村奈津美（防災アナウンサー）

解説：島谷幸宏（熊本県立大学 特別教授）

コメント：山下輝和（(株)リバー・ヴィレッジ）

《レクチャー項目》

プロローグ：「水循環と日本の水利用」

恵み：「天水 ～日本人と雨のつきあい方～」

「雨活（雨水活用）ってなに？」

「雨水の水質と整雨（せいう）」

「雨水タンクってなに？」

災い：「災いの雨」

動画制作・解説：国立研究開発法人防災科学技術研究所
水・土砂防災研究部門長 三隅良平

恵みレクチャー動画制作協力

福岡大学 水圏システム研究室

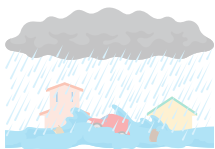
NPO 法人雨水市民の会

日本建築学会あまみず活用の評価を考える小委員会

TOKILABO / (株) 日盛興産

(公社) 雨水貯留浸透技術協会

近畿大学 工学部 建築学科 建築計画研究室



10:10 デイバート「雨は、恵みか？ 災いか？」 (120分)

雨の“恵み”“災い”の 2 チームに分かれ、「学識者」「学生」「市民」がそれぞれの立場で議論を闘わせます。両チームの主張から『雨』の様々な面を学び、『雨』について改めて考え直します。

進行：伊豫岡宏樹（福岡大学 工学部 社会デザイン工学科 助教）

ラウンド 1 [学生] 10分

恵み 國廣 圭太 ×

(福井工業大学 4年)

災い 大目 雅公

(九州大学 修士 2年)

ラウンド 2 [市民] 10分

恵み 高橋 朝子 ×

(NPO 法人雨水市民の会)

災い 松浦 ゆかり

(次世代のためにがんばる会)

ラウンド 3 [学識者] 10分

恵み 浜田 晃規 ×

(福岡大学 社会デザイン工学科 助教)

災い 市川 尚紀

(近畿大学 建築学科 教授)

フリーディスカッション 30分

ラウンド 1～3 を踏まえ、さらにそれぞれを主張！

最終討論 10分

さあ、最後の主張!! 両チームどう出るか・・・

参加者意見分析

「テキストマイニング」で参加者みなさんの意見を分析

総評・コメント

栗原秀人 (下水道広報プラットフォーム アドバイザー)

橋本淳司 (水ジャーナリスト / アクアスフィア・水教育研究所 代表)

12:10～13:30 【昼食休憩】 一時休止

「雨水ネットワーク」とは・・・

雨水活用や雨を主とした水循環系の健全化等に関わる市民・企業・行政・学会等が形成する“緩やかな情報のプラットフォーム”です。

雨水を排除するのではなく、“雨水をためて活かすことが当たり前な社会”を実現するためには、雨水活用に関する研究や技術開発をはじめ、啓発や環境教育など、様々な分野の人々が協働して取り組んでいかなければいけません。そのため、『雨水ネットワーク』は、雨水活用等に関する情報交換や交流を通じて、水循環の健全化に貢献し、持続可能な社会が構築されることを目指して右の活動を行っています。

1. 雨水に関わる人々のための情報プラットフォームづくり
2. 雨水に関わる人々のネットワーク拡大と交流・協働の促進
3. 雨水に関する知識や技術情報の収集と蓄積
4. 雨水に関する情報の発信
5. 雨水に関わる人々の情報交換
および交流を目的としたイベントの開催

Rainwater Network JAPAN

13:30 活動報告 (90分)

これまでの全国大会開催地（宮城・東京・愛知・福井・大阪・松山・広島・福岡）から、最新情報、現在の活動等について報告頂きます。

進行：日高規晃（あめゆき Cafe / (株) 日盛興産）

報告① 「実験住宅を用いた雨水自然冷暖房システムの開発」

市川尚紀（広島：近畿大学 工学部 建築学科 教授）

報告② 「東京の雨水グリーンインフラを洗い出せ」

神谷 博（東京：NPO 法人雨水まちづくりサポート 理事長）

報告③ 「雨水利用からはじまる様々な展開」

田浦扶充子（福岡：九州大学 学術研究員）

報告④ 「雨水楽舎 10年の軌跡」

大北佳代子（松山：雨水楽舎 代表）

報告⑤ 「八尾市 雨水利用モデル事業！～『水の大切さ』を学ぼう！～」

福井陽介（大阪：八尾市 環境保全課）

報告⑥ 「雨水ネットワーク東北の活動報告」

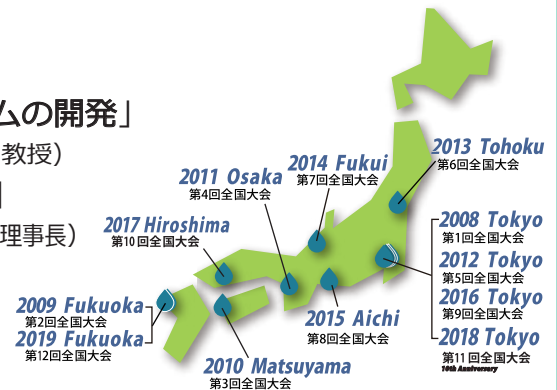
江成敬次郎（宮城：雨水ネットワーク東北 代表）

報告⑦ 「流せば洪水、貯めれば資源 雨水活用による持続可能社会の模索」

笠井利浩（福井：あめゆき Cafe / 福井工業大学 教授）

報告⑧ 「2015 雨水・愛知大会「雨・恵・緑・情」～ 私たちはありきたりをこえたか？」

近藤 朗（愛知：愛知・川の会）



15:00 あまみず相談 (60分)

雨の利用方法や注意点など、皆さんから寄せられた「雨水活用」に関する様々な疑問・質問に、雨水活用の普及に取り組む“建築”・“学識”・“企業”の方々にお答え頂きます。

進行：笹川みちる（NPO 法人雨水まちづくりサポート 理事 / NPO 法人雨水市民の会 理事）

回答者：大西和也（雨水ネットワーク事務局 / (公社) 雨水貯留浸透技術協会）

岡村晶義（一級建築士事務所 アトリ工鯨 代表）

田浦扶充子（九州大学 学術研究員）

向山雅之（(株) 竹中工務店 設計本部）

16:00 ふりかえり&まとめ (60分)

皆さんにとって、雨は、“恵み”？ “災い”？ 参加者みなさんで今日学んだこと、感じたことをグループワークで振り返ります。

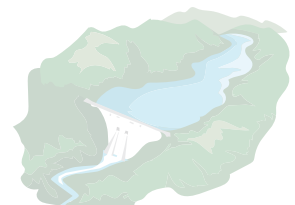
進行：谷田貝泰子（雨水ネットワーク東北）

説明（5分）：グループワークの進め方説明

グループワーク（30分）：5～6名程度のグループに分かれ、ふりかえり

グループ報告（15分）：それぞれのグループで話した内容を報告

総括（10分）：大会実行委員長によるまとめ、総括



17:00 閉会

閉会后、Web 居酒屋「あまみず」(Web 懇親会) 開店！（閉店 18:30）

話し足りない方、色んな人の話を聞いてみたい方などなど、各々好きな飲み物や食べ物片手にゆっくり語り合しましょう。



【主 催】 雨水ネットワーク全国大会 2021 実行委員会

【後 援】 国土交通省

【協 力】 雨水ネットワーク東北 (公社) 雨水貯留浸透技術協会 NPO法人雨水市民の会
NPO法人雨水まちづくりサポート 崖線みどりの絆・せたがや みずとみどり研究会
関西雨水市民の会 あめゆき Cafe 雨水楽舎 あまみず社会研究会 (順不同)